

オーナー名 社会福祉法人 賛育会

業種	大分類 医療・福祉	中分類 社会保険・社会福祉・介護事業
HP	https://www.san-ikukai.or.jp/sumida/hospital_ss/	

ZE布への取組み目標（2030年中長期計画）

当法人は福祉社会の充実発展を目指し、東京・長野・静岡で病院・特別養護老人ホーム・保育園などの事業を行う社会福祉法人である。

法人初のZEB化に取り組む施設は、東京都墨田区立花地区に新設予定の在宅医療・介護、慢性期・終末期医療病棟、介護施設を中心とした医療・介護の複合施設であり、

地域包括ケアシステムにおける地域の中核拠点を目指して建設する

この施設では、地域のニーズに応えるために、病院と介護施設を合築することにより医療・介護の連携を強化し、地域の方が住み慣れた場所で安心して暮らし続けられるよう、包括的な支援に取り組む計画である。

医療と福祉サービスを利用する方は、治療の必要な患者や終末期の患者、介護の必要な高齢者などである。

そういう方々に、快適かつ安全・安心な空間を提供するためには、医療設備だけではなく空調設備や照明設備、給湯設備の長時間稼働が不可欠であり、他用途の建築物と比較するとエネルギー消費量は非常に大きいものとなる。

その施設特性を踏まえたうえで、環境に配慮した施設づくりを実現するため、ZEB化を積極的に推進し、省エネルギー化を目指すものである。

当法人は常に社会の情勢変化に対応し、積極的に必要とされる課題に取り組むことを重要視しており、地域包括ケアシステムの新たな拠点として重要な役割を果たすとともに、

一方で、社会・経済の構造変化に加え、技術革新によって、資源の有効利用と資源循環回路の構築が重要な課題として位置づけられており、地域活性化や資源循環の観点として重要な役割を果たすとともに、地球環境の課題である消費エネルギー削減の問題にも取り組む必要性を感じている。

ホームページや広報紙等を活用してZEB（ネット・ゼロ・エネルギー・ビル）についての情報を発信するほか、当法人全体へのZEB化普及に向けた情報提供に取り組む

計画施設完成後に日本ZEB化事業によって得られる経験や結果を検証・反映することで、既存施設改修時のZEB化も検討するなど、地域環境と調和したより効率的な

計画施設が完成後には本LED照明事業によって得られる性状や結果を検証・反映することで、既存施設改修のLED化に検討するなど、地域環境に調和したより効率的な施設運営が可能となるよう努め、地域社会へ貢献する。

導入実績・導入計画